



# 生活クラブ風車 夢風 News

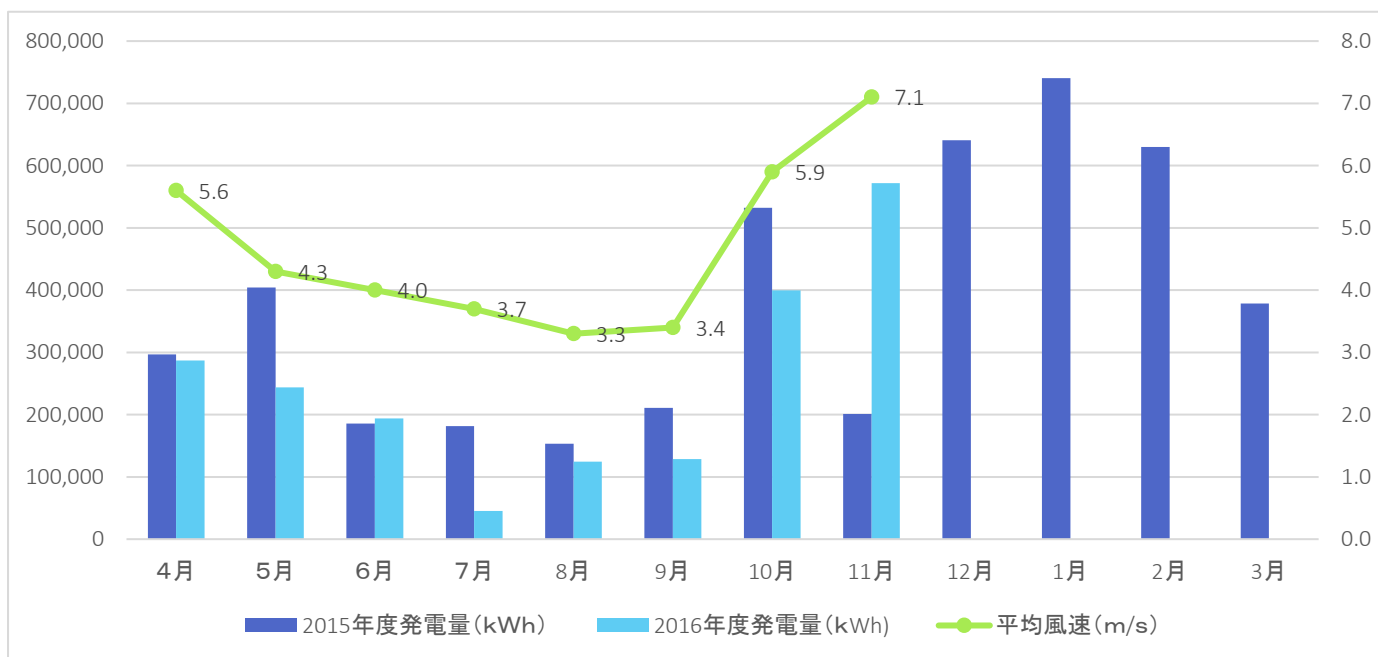


Vol.54

●発行 2016. 12. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田  
●発行責任者 半澤彰浩(代表理事) ●編集責任者 西村明子

## ■2016 年度 発電実績

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	286,904 【96.7%】	5.6	20.0	10月	399,343 【75.0%】	5.9	27.0
5月	243,884 【60.3%】	4.3	16.5	11月	571,908 【284.3%】	7.1	39.9
6月	193,900 【104.3%】	4.0	13.5	12月			
7月	45,130 【24.8%】	3.7	3.1	1月			
8月	124,507 【81.3%】	3.3	8.4	2月			
9月	128,479 【60.9%】	3.4	9.0	3月			



○風況は過去4年の記録と同等でした。(過去4年平均値：7.2m/s)

○昨年の風況は過去3年と比較して最も低い状況でしたが今年は平年並みで前年比120.3%となりました。

○大きなトラブルなく順調に稼働し、風況も平年並みであったことから稼働率も上がりました。

## ■ 東日本大震災復興支援まつり2016に参加しました。 ■

11月19日(土)横浜市中区の山下公園お祭り広場で「風化させることなく 励まし合いながら 復興していこう そして未来を切り拓いていこう」をテーマに、東日本大震災復興支援まつり2016が行われ、にかほ市企画課の越川雄一さん、伊藤製麺所の伊藤実さん、日南工業の服部進一さんとグリーンファンド秋田で参加しました。山下公園は今でこそ観光地として有名ですが、関東大震災のがれきを埋め立てて造られたそうです。当日は夜中から激しい雨が降り、日中も降り



開店準備の様子。右から越川さん 伊藤さん 西村  
この時はまだ雨が残っておりカッパを着用しています。

続くという予報でしたが、開会のころには雨もやみ、おおぜいの来場者でにぎわいました。104の出店ブースが並び、にかほ市では鱈しょつつるなどの夢風ブランドなどの物産販売を行い、グリーンファンド秋田は夢風酒と、伊藤製麺の伊藤さんにご協力いただき、刻みネギとウズラのゆで卵、のりをのせた生タラーメンを販売しました。気温が低かったので、温かいラーメンは大人気になり行列が絶えませんでした。

また、この夏にかほ市で合宿をおこなった法政大学西城戸ゼミの学生3名も手伝いに駆けつけてくれ、物産の販売や、ラーメンの行列の整理や会計などに大活躍しました。

## ■ 2016年度仕込み「純米大吟醸 夢風」の視察に伺いました ■

2016年11月29日、生活クラブ神奈川とグリーンファンド秋田で、(株)飛良泉本舗を訪問し、荳司営業部長、遠田杜氏にご対応頂きました。

2016年度も昨年に引き続き、にかほ市の秋田酒こまち100%を使用し、精米歩合50%、1801酵母を使い、日本酒度+2とする生活クラブと飛良泉本舗が共同開発したオリジナルの「純米大吟醸・夢風」をタンク1本仕込みました。今夏は酒米が出穂してから暑い日が続き、今年の酒米は昨年に比べて固く、米の蒸し時間を長くするなど調整をされているそうです。さらに、仕込み蔵を見せていただき、夢風酒が昨年と同じタンクで丁寧に仕込まれている様子を確認いたしました。今年は、きれいめなお酒に仕上がっているとの事です。

今年は、12月に、火入れせずにしぼったままのフレッシュな味わいの夢風酒を飛良泉のお蔵から直接、東京・神奈川・千葉のデポーに冷蔵で届ける「しぼりたて夢風」の共同購入にチャレンジしています。この「しぼりたて夢風」に続いて、1月には火入れをした「夢風」が取り組まれます。是非、多くの組合員の方にお試しいただきたいと思います。



生活クラブ神奈川で取り組む「夢風」消費材第二弾は(有)三浦米太郎商店の「はたはたオイル漬け」に取り組むことになりました。おいる漬け以外にもさまざまな「ハタハタ加工品」を試食し、アイデアを出し合った結果、おいしさと目新しさ、おしゃれ感を前面に打ち出したいと考えています。

春、三浦米太郎商店で販売されている市販の「はたはたおいる漬」を試食した環境・平和メンバーたち。「なんかちょっと、う〜ん、パンチがないねえ」「油がちょっと、市販の油だよねえ〜」と即、改良依頼。

夏には、委員会メンバーの半分がにかほ市にお邪魔し、三浦さんご本人にこの改良を直接依頼。漬けオイルは生活クラブのなたね油とオリーブオイルを使用してもらうことを確認しました。

秋、「はたはた実行委員会」という何のひねりもない名の実行委員会を、環境・平和委員会のもとに立ち上げ、開発・取組みに向けた具体的な話し合いを始めました。どうしたら組合員にアピールできるのか、瓶の形状、中身のハーブ類など、少し細かい提案をだし、それを再度三浦さんに届け、第1回目の改良品の試作をお願いしました。組合員はレシピ提案をメインにアピールを進めていくことにしました。

11月。三浦さんに、にかほ市から神奈川県綾瀬市にある、あやせセンターまでお越しいただき、メンバーが考えたレシピで開発品第1弾を試食。試作品は、

漬けオイルを生活クラブのなたね油とオリーブオイルに変えただけのもの1種類。パンチがない、というところは塩分濃度を上げたものを2種類。実行委員会内で出てきた、「ハーブ、ニンニク、鷹の爪は、かけらが見えていた方が高級感出る」には3種類とも答えていただき、いざ実食！結果はなんと、漬け油を変えた



夏の組合員リーダーツアーの中、協議が行われました。  
岩崎さん 浅野さん 桜井さん 遠藤さん  
田村さん 戸田さん 三浦さん 椿山さん

だけのものが一番美味しかった！恐るべし生活クラブの油たち。

今後は、組合員が手に取りやすい価格帯にどう近づけていくかが議題となり、次回の試作では、ハタハタの量や切り方などを変える予定です。年明けには瓶に貼るラベルの公募も始まります。

組合員とにかほ市の生産者とコラボした夢風ブランドの「はたはたおいる漬け」がカタログ・デポーにお目見えするのは17年6月ごろになりそうです。

乞うご期待。



11月あやせセンターで行われた会議の様子。

写真奥中央が三浦さん



## ■ 風力発電は季節によって発電量が違うの？ 強風が吹いても大丈夫？ ■

風力発電のエネルギー源は自然風ですので、季節によって発電量は異なります。夢風のある秋田県は、冬期は北西の季節風が強く吹きます。これからの季節、天気予報でおなじみの「西高東低の冬型の気圧配置」になると、夢風にとってはよい風が吹き、発電量も多くなるというわけです。夢風は風速4m/sから発電を開始し、25m/sを超過すると自動停止するようになっています。25m/sを超えるような風が吹くときには、風車の羽の角度を風と平行になるようにして、風を素通りさせてしまいます。（左写真参照）風力発電を日本で始めた当初は、台風のような強風が吹かないヨーロッパ製の輸入機が多かったこともあり、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）で2005年から3年間かけて日本特有の強風・乱流・雷に対する対策を検討して日本型風車のガイドラインを作り、強風に対する対策がはっきりしました。冬の寒さは身にしみますが、この風が電気を起こしている…と想像すると、ちょっぴり心が温かくなるかもしれません。



## ■生活クラブエナジーのホームページに夢風が掲載されています。■

夢風が発電した電気は、(株)生活クラブエナジーに売却し、生活クラブの施設や、組合員宅で使われています。このたび、生活クラブエナジーのホームページにグリーンファンド秋田の記事も掲載されました。全国の自然エネルギー発電所紹介をクリックすると、ご覧いただけます。どうぞご覧ください。

アドレスはこちらになります。<https://scenergy.co.jp/producer/293.html>

## ■ぶらり人形町 青いポストを見たことがありますか？ ■



郵便ポストと言ったら、赤いものだと思っていたら、速達専用の青いポストが全国に35本あるそうです。都内にはたった6本しかなく、そのうちのひとつが人形町にもあると聞いて確かめに行ってみました。グリーンファンド秋田東京オフィスから歩いて5分くらいのところに、本当にありました！何度もペンキで塗りなおされた感じの、ちょっと重厚感あるポストでした。もともとは、航空郵便専用のポストで、そののち速達用になったようです。今は、用事があればメールでも、電話でも済みますが、ほんの少し前まで(この感じ方には個人差があるとは思いますが)は、大切な書類も、心のこもったお手紙も、みんなポストに入れていたんだよなあ、と感慨深いものがあります。手紙やはがきを書く機会は減ってしまいましたが、ときどきはポストに入れる手紙も書いてみようかな…と思います。

今年もあと残りわずかとなりました。本年もお世話になりました。どうぞ皆さま、よいお年をお迎えください。